

2025年[令和7年] 成長の年に

校長 根本愛子

2025年[令和7年]が始まりました。正月の「正」の字は、「一に止まる」と書きます。「一」とは原点、つまり自分のこと。いったん、本来の自分に立ち返って、新たな自分に成長させるために新年の誓いを立てる、それが正月の意味だと教えていただいたことがあります。大晦日から元旦へ、たった一日の違いで、目にするもののすべてが「新生」なものとして映るのは正月特有のめでたさであり、新たな年への希望・夢、期待などが凝縮したもののように思われるからではないでしょうか。学校も、始業式から1週間がたち、目標（誓い）に向かって頑張ろうとしている生徒のエネルギーに満ちあふれています。

さて、今年の干支は、「乙巳（きのと・み）」です。これまでの努力や準備が実を結びはじめ、勢いを増して行く年、しっかりと足元を固め、幸運に導かれる年といわれています。そして、脱皮を繰り返す姿から、「再生」「進化」「成長」「知恵」に通ずるというポジティブなイメージがあります。

生徒たちが、一日一日を大切にし、新しい挑戦や学びを通じて困難を乗り越える力をつけ、自分らしい生き方を実現できる幸せな年になることを願っています。

3学期は、「行く1月、逃げる2月、去る3月」と言われるほど短い学期ですが、1年間のまとめを行う大切な学期です。このまとめの内容が、4月からの生活につながります。特に3年生にとっては、義務教育の集大成として、進路実現という実になります。進学や進級に向けて、職員一同、「自ら学び 心豊かで たくましい生徒の育成」に尽力してまいります。

本年も、干支のごとく、「成長」と「挑戦」する関城中学校となるよう、本校の教育活動への変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

今月の関中ワード

こんな年になるといいですね



変化をおそれず、挑戦しよう！



ビッグな夢とビジョンをもとう！